



Since 1949

一般財団法人日伯経済文化協会 (ANBEC)

Associação Nippo-Brasileira Economia e Cultura (ANBEC)

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢 6 丁目 29 番地 1 号 Tel. 03-5706-9870 info@anbec.or.jp

茨城県支部：茨城県常総市水海道、十日町支所：新潟県十日町市茂

第 6 回「ANBEC 親子で子供と家庭の健康を考える集い In 常総」のご案内 (案)

<在日ブラジル人児童生徒向けポルトガル語健康講話と健康相談会>

開催月日 : 2021 年 7 月 24 日 (土) 開催時間 : 12 : 45 (開場) 13 : 00 ~ 17 : 00

開催場所 : 常総市生涯学習センター、常総市水海道天満町 4 6 8 4

参加対象者 : 茨城県および近郊在住ブラジル人親子 参加費 : 無料

申込み方法 : 以下項目を記載して E-mail にて事務局へ家族単位でお申し込み下さい。定員になり次第締め切り。

①家族の代表者名 ②参加者全員の氏名と年齢 ③健康相談ご希望の有無 (相談は家族での予約制)

④健康相談申込者のご希望の専門分野医科かブース番号(*)を記載 ⑤居住市町村名 ⑥連絡先電話番号

申込とお問い合わせ先 : 2021anbeckenkou@gmail.com ANBEC 健康管理プログラム事務局

プログラム

13 : 00 ~ 13 : 05 主催者ご挨拶

13 : 10 ~ 14 : 20 <第一部 子供と家庭での健康管理についての講話>

13 : 10 - 13 : 30 講話「心と体のバランスを保つために」松崎会理子医師/慶應大学医学部卒業、小児科医として病院勤務

13 : 35 - 14 : 05 講話「健康と命の大切さについて」山岸敬幸医師/慶應大学医学部教授 (小児循環・先天性心臓疾患等)

14 : 05 - 14 : 20 ビデオ講話「学童近視の最新知見について」鳥居秀成医師/慶應大学眼科教室講師

14 : 30 ~ 17 : 00 <第二部 A. 親子健康相談と B. ブラジルと保健衛生分野に関するワークショップ>

(健康診断申込者は順番で希望専門医師と別室にて面談一人あるいは家族の相談時間 15 ~ 20 分。A と B は同時時間帯進行)

A. 親子健康相談の担当専門医師と相談ブース番号(*)

ブース 1 : 松崎会理子先生/相談専門分野—小児科全般 (ポルトガル語話者)

ブース 2 : 山岸敬幸先生/相談専門分野—小児循環器・小児全般、心臓疾患症ほか (ポルトガル語通訳付き)

ブース 3 : 岩崎賢一先生/相談専門分野—産婦人科 (ポルトガル語通訳付き) /慶應大学医学部卒—茨城県下産婦人科病院勤務

B. ブラジルと保健衛生分野に関するワークショップ

WS 1 : 「ブラジル人の寄生虫シャーガス風土病。コロナウィルス感染防止」三浦佐千夫先生 (ANBEC/MAIKEN 理事)

WS 2 : 「NLP 脳神経言語プログラミングによる意欲向上について」Ruth Fujii 先生 (USA NLP トレーナー)

WS 3 : 「感染症の世界歴史。ブラジルでの医療研修での発見」慶應大学医学部 44 次 IMA 派遣学生団

備考 ; 使用言語 ; 健康管理講話および健康相談はポルトガル語話者および日本語話者には医療通訳が対応する。

コロナ感染防止策 : 一般的に必要とされる対応を実施し参加者の自制的行動を要請する。

コロナ感染状況によっては中止もあり得る。開催日の 10 日前までに可否の最終判断を行う。

主 催 : 一財) 日伯経済文化協会 ANBEC

協 力 : 常総市役所 (申請中))、慶應大学医学部国際医学研究会 IMA 後援 : 在京ブラジル総領事館、サンパウロ三田会東京



Since 1949

一般財団法人日伯経済文化協会 (ANBEC)

Associação Nippo-Brasileira Economia e Cultura (ANBEC)

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢 6 丁目 29 番地 1 号 Tel. 03-5706-9870 info@anbec.or.jp

茨城県支部：茨城県常総市水海道、十日町支所：新潟県十日町市茂

<開催趣旨>

ANBEC では事業柱の一つとして、在日ブラジル人青少年の教育・職育支援活動を多分野にわたり長年実施しております。ブラジルと文化社会的価値観や社会制度が大きく異なる日本での成長過程においては、移民の子供として学業だけに留まらず、社会生活上での大きなハンデキャップにも遭遇することを私達は重視しております。その一つが健康管理（精神衛生含め）啓発情報や健康相談が母語で受ける機会が親子とも非常に少ない事であります。このため、心身の健全な成長への支援ボランティア活動として、心理相談および親子への健康管理講座や健康相談（時には健康診断）プログラムを実施しております。この度は上記の要綱にて開催を予定致します。

今回は、常総市ならびに慶應大学医学部・同国際医学研究会 IMA 所属の医学部学生及び同医学部ご卒業の医師の皆様方のご厚意とご協力により実施する運びとなりました。また、在京ブラジル総領事館およびサンパウロ三田会東京（慶應大学卒業生ブラジル関係者同窓会）の後援を賜っております。

なお、慶應大学は日本人のブラジル移民開始時期より卒業生が移住事業への活躍がありました。特に医学部においては、二次大戦以前 1930 年代からはブラジルの日本人移民社会への医療支援と深い繋がりが出来ました。日本病院建設への協力あるいは卒業医師の移住とブラジル奥地での住民への診療活動は高い評価を受けています。そのご家族は現在も医師としてご活躍されています。また、戦後は医学部国際医学研究会より国家試験受験直前の選抜学生が研修のためブラジルを中心に南米に派遣されております。同派遣プログラムも本年度で 44 年目となりブラジル医療関係者との交流も盛んに行われています。残念ながら新型コロナウイルス感染症蔓延のため、本年度は同プログラムを中止せざる得ないとの事であります。ブラジルとの交流を絶やさないため又新たな交流としても、この度は本プロジェクトを通じて在日ブラジル人社会への医療支援と研修の場として活動することになりました。その他、慶應大学法学部も同様に戦後は長い歴史を持った交流が続けています。

また、一財）日伯経済文化協会（ANBEC）は、第二次世界大戦の敗戦で焦土化した祖国日本へブラジルの日系社会から莫大な義援金や物資が送り続けられましたが、その受け皿として日本の外務省により設立されました。その恩返しの意味でも、現在在日ブラジル人社会支援を一つの事業柱としております。今回のプロジェクトは支援の概念だけでなく、日本人のブラジル移民からの日伯（日本とブラジル）交流の歴史を意識し、逆にブラジル人の日本移民の認識を高めて新たな日伯交流に向けての、小さな切っ掛けとなればとも考えます。

コロナ禍の不安は免れず対面での実施は躊躇されますが、このような時期にこそ母語でのプログラム実施の要望も少なくありません。人数制限ほか感染防止に注意を怠らず実施を予定することにしました。関係各位のご協力とご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。ポルトガル語案内書も別添いたしますので、ご関係のブラジル人家庭へのご案内を賜りますよう重ねて、お願い申し上げます。

以上

2021 年 6 月 6 日

一財）日伯経済文化文化協会 (ANBEC)

専務理事 栗田政彦/東京サンパウロ三田会幹事長